

# レーザー ラジアル 鈴木（振徳）優勝



セーリングで全国総体出場を決めた日南振徳の鈴木杏依子（手前）と中村航（左）黒木唯斗（我井聖貴撮影）

## 熟知の海域 風を味方に

○セーリングは悪天候で17日の競技が行われず、女子レーザラジアル級の鈴木杏依子（日南振徳）は、16日までの暫定成績が確定し優勝。6レース中4レースで首位に立ち、「地元開催なので絶対に負けられなかった。優勝できてうれしい」と笑顔がはじけた。

毎日練習し、知り尽くした海域。スタートで出遅れてもうまく風を味方に付け、ライバルを抜き去った。ただ、風が弱まった2度のレースは2着で、課題も見えてきた。

昨年は2人乗りの420級で活躍。全国総体と国体で入賞を果たし、昨年末の日本代表に選ばれ世界選手権に出場した。ペアを組んでいた先輩の引退で女子部員1人となり今年2月、1人乗りに切り替えて猛練習。3月の九州選抜大会を制するまでに力を付けてきた。

「本当に負けず嫌いで練習に一生懸命取り組んでいる。全国では上位を狙ってほしい」と平島昇監督。鈴木は「世界選手権に出て、競技がさらに好きになった。日本一を目指す」と力強かった。（那須友紀）

15・16日・日南大津マッ

セーリング

トハーバー池

### 初全国飛躍誓う

○男子420級の黒木唯斗・中村航（日南振徳）が9位に入り、全国総体（出場枠10）の切符を初めて手にした。

県総体は2位で「必ず全国総体出場権を獲得する」と大会に臨んだ。16日まであった競技では、第4レースは艇の位置取りや操作ミスなどで17艇中15位に。次のレースは風をうまくつかんでスピードに乗り、今大会最高の7位でゴールした。

全国の舞台へ、黒木は「スタートで飛び出して攻める走りがしたい」、中村は「ミスをなくせば強豪

とも戦える」とそれぞれ活躍を誓った。（那須友紀）